

掛谷宗一

かけや・そういち

数学者、理学博士
東京帝国大学教授、東京文理科大学教授
学術研究会議議長、統計数理研究所長
学士院会員、学士院恩賜賞受章

経歴

生: 明治19年(1886年)1月8日、広島県深安郡坪生村(現福山市坪生町)生まれ

没: 昭和22年(1947年)1月9日、享年62歳

明治34年(1901年)3月30日	15歳	広島県第二中学校(誠之館)卒業
—	—	東京帝国大学理科大学数学科卒業
—	—	第一高等学校教授
—	—	東北帝国大学助教授
大正2(1913年)12月20日	27歳	「連立積分方程式ニ関スル函数論研究」第1報を、『東北数学雑誌(4巻3号)』に発表
大正5年(1916年)8月5日	30歳	理学博士
大正7年(1918年)	32歳	アメリカ留学
—	—	東京高等師範学校教授
昭和3年(1928年)	42歳	学士院恩賜賞
昭和10年(1935年)4月20日～ 昭和21年(1946年)10月12日	49～ 60歳	東京帝国大学教授兼東京文理科大学教授
昭和12年(1937年)	51歳	「正則関数の境界値に関する研究」
—	—	学士院会員
—	—	学術研究会議議長
昭和19年(1944年)	58歳	統計数理研究所所長

生い立ちと学業、業績

大正、昭和時代の数学者。掛谷七十郎の三子として生まれた。

東京帝大理科大学数学科を卒業した後、数学者として第一高等学校教授、東北帝大助教授、東京高師教授を経て、東京帝大教授兼東京文理大教授を歴任した。
東大教授在任は、昭和10年(1935年)4月20日から昭和21年(1946年)10月12日までの11年6か月間であった。

大正2年(1913年)12月20日、「連立積分方程式ニ関スル函数論研究」第一報、『東北数学雑誌(4巻3号)』を發表した。

大正5年(1916年)理学博士となった。

大正7年(1918年)アメリカへ留学した。

東大教授時代の労作に、「正則関数の境界値に関する研究」がある。

また、「正実数係数の代数方程式の根(こん)の限界に関する定理」は、「掛谷の定理」として著名である。

学士院会員で、昭和3年(1928年)学士院恩賜賞を受賞した。

昭和19年(1944年)統計数理研究所初代所長となり、学術研究会議議長も歴任した。

主著に『一般函数論』『微分学』『積分学』などがある。

また、微分学、積分学についての教科書も、多数執筆した。 石井和佳(昭和25年卒)

著 書			
書 名	制作／発行	日 付	コメント
『新定 算術』	大日本図書	大正12年	—
『新編 代数学教科書』	大日本図書	昭和3年	—
『微分学(岩波全書9)』	岩波書店	昭和8年	同窓会所蔵
『一般函数論』	岩波書店	昭和11年	—
『中等数学 数学 増課用 修訂版』	大日本図書	昭和12年	—
『中等数学 算術代数学 上巻修訂版』	大日本図書	昭和12年	—
『積分学(岩波全書82)』	岩波書店	昭和13年	—
『高等数学概要』	岩波書店	昭和14年	—
『平面三角法』	科学書院	昭和16年	蓮池良太郎共著
『高等数学概要 改版』	岩波書店	昭和22年	—

誠之館所蔵品				
管理No.	氏 名	名 称	制作／発行	日 付

03916

掛谷宗一 著

『微分学(岩波全書9)』

岩波書店

昭和8年

出典1:『誠之館百三十年史(上巻)』、778頁、福山誠之館同窓会編刊、昭和63年12月1日

出典2:『新潮日本人名辞典』、新潮社編刊、1991年

出典3:『講談社日本人名大辞典』、講談社編刊、2001年

出典4:『福山学生会雑誌(第49号)』、33頁、福山学生会事務所編刊、大正5年11月5日

2005年4月19日更新:本文・著書●2006年6月21日更新:タイトル・所蔵品●2008年1月4日更新:経歴・本文●2008年7月22日更新:経歴・出典●2010年2月4日更新:著書・誠之館所蔵品●